

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人福祉総合評価機構

② 事業者情報

名称：こころ保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：前田美佐子	定員（利用人数）：48名（47名）
所在地：諫早市栄田町 42-56	TEL0957-56-9877

* 施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③ 施設・事業所の特徴的な取組

1. 小規模を生かし、自宅にいるような雰囲気ですごせる環境づくりを目指した園舎整備をしている。
1. 保護者の負担にならないような参加での行事や内容にするように努めている。
1. 核家族が増えている昨今、クラス内だけの活動にとどまらず、異年齢の関わりを通して子ども同志が育ちあう環境を作ることを意識している。

④ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年10月3日（契約日）～ 令和5年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回

⑤ 総評

◇ 特に評価の高い点

■ 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりへの取組

園長は、職員自身が健康で幸せでなければ、適切な保育ができないという思いから、職員の家庭人としての生活を大切にしてほしいと考えている。

そのため、職員の勤務体制に関し、極力職員の希望に応じており、短時間労働や休暇、シフトの交代、非常勤から常勤への転換、退職者の復職等、多くの対応事例が確認できる。園には子育て中の職員が多く、職員同士でコミュニケーションがよく取れており、良好なチームワークが確認できるのは、園の強みといえる。

また、福利厚生として職員はがん保険に加入しており、誕生日休暇もある。新型コロナ禍が収束した際には、以前のように懇親会等も再開したいと考えている。

働きやすい職場づくりに取り組んでいる園の姿勢は高く評価できる。

■ 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業

園長は県の保育協会女性部会の副部長であるとともに、諫早市保育協会から民生委員児童委員の選任委員の任命を受け携わっている等、地域の状況を知る立場にある。

また、県内の女性団体が連携・協力し、子育てにやさしい笑顔あふれる地域社会をめざして、地域の子どもと子育て家庭の親に声を掛け、励まし、支える活動「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」に、保育協会女性部会が参加しており、園長も役員として、フードバンクや相談事業に携わっている。

園としては、近年の雪の影響で断水した際は水を地域住民に提供した事例があり、公益的な活動に積極的に関わっていることは、特筆すべき点である。

■ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育

各クラスでは、一日のメイン活動を設定しており、子どもに聞きながら遊べるように援助している。土曜日は自由の時間として、主活動を前半に行った場合は後半を自由活動としており、子どもが自由に主体的に遊べるような時間を設けている。

社会的ルールを学ぶ機会として、年長児はお泊り保育がある。お泊り保育の中で積極的な子どもの姿に触れ、職員は園では見せない子どもの新たな一面を発見できる機会となっている。

可能な限り園外保育も行っており、運動会の練習のため、園のマイクロバスで練習施設まで出掛けたり、公共交通機関を使って外出しており、子どもの主体性を尊重し、生活と遊びが豊かになる保育は園の特長である。

◇改善を求められる点

■ リスクマネジメント体制の構築

リスクマネジメントに関する責任者は、園長である。

園では定期的に園庭の遊具の点検を行っており、更に事故に繋がる危険性がないか園内の点検に努めている。

園としてリスクマネジメントのひとつであるヒヤリハットについて、昨年、職員向けの研修で全員が学ぶ機会を設けている。ただし、ヒヤリハットの収集はこれからである。

また、嘔吐や発熱の対応マニュアルは作成中であり、職員に周知を図るのは今後の取組みとなる。また、事故発生時の対応マニュアルは作成しており、今後更にブラッシュアップする予定である。

更に、不審者対策ではマニュアルを整備し、フローチャート形式で対応方法を定めているものの、不審者の侵入を想定した訓練は実施しておらず、園として、訓練の必要性を感じている。散歩等、園外で不審者に遭遇した際の対応方法についてマニュアル作成も含め、子どもが安心、安全に過ごせるようリスクマネジメントについて、検討、取組みが待たれる。

■ 職員が参画する組織的な事業計画作成と全体的な計画の編成

職員が意見を出すボトムアップ体制は構築できているため、これを生かして事業計画作成にも職員が参画し、組織的に評価・見直しを行うことに期待したい。

また、園の全体的な計画は、園長と主任が作成しており、前年の振り返りを行った上で、次年度の計画に繋げている。ただし、現在現場の職員の意見を反映する仕組みはないため、今後、職員の参画のもとで全体的な計画を作成する仕組みづくりが求められる。

■ 利用者満足の上を目的とするしくみ

行事後には職員が保護者から感想や意見を聞き取る他、連絡帳に記載があったものを情報共有している。更に、登降園時に保護者との会話から把握している。

園長は、保護者の就業状況や家庭環境等に配慮し、園として保護者の時間を割くことはしないことを基本としている。そのため、保育参観や個別面談等を定例にすることはしておらず、今後は保護者の満足度や意見を聴取する方法等を検討したいと考えている。今後の取組みに期待したい。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の評価を受けて改善すべき点、また加えていくべき点がクローズアップされ、今後の課題が見つかり大変良かったと思います。

職員や園が現在行っていることに関しても、自分たちでは気付きにくい部分や良い評価をいただいたことで、更に今後に生かしていきたいという思いを強くした内容もありました。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目（66項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。				
項目	評価	コメント		
1	I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	園のホームページ及び、入園案内のパンフレットの冒頭に理念を明記しており、保護者には入園前の面接の際に、主任が説明を行っている。また、各クラスには、理念を掲げ職員へ周知を図っている。 開所にあたり子どもたちや保護者の「こころの拠り所」となる園にしたいという思いから、園舎の外観は洋風の家庭のような造りにしている。 園長は、職員が理念を正しく認識できているかを折に触れて確認する機会が必要だと感じている。これからの取組に期待したい。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
2	I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	園長は長崎県保育協会女性部会の副部長である。そのため園の経営を取り巻く環境、特に障がいのある子どもに関連する情報を収集できる強みを持っている。また、園に通う子どもや保護者の状況や世帯数の推移等は把握しており、地域の特徴や人口動態の変化等を園の運営に役立てていることは特長である。 税理士が定期的に訪問して助言しており、園長は経営状況を把握している。
3	I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	園長は経営課題として、人材の確保及び保育の質の向上のための職員育成を掲げている。ホームページやハローワークで求人を行っている他、職員からの紹介で採用に繋がった事例もある。 職員育成については、有料eラーニングを導入しており具体的に取り組んでいることがわかる。 園長が掲げる経営課題の解決に向けて、職員とともに進めていることは、高く評価できる。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
4	I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	今年度、園では職員を増員しており、園長は将来的には更に増員したいと考えている。また、不足している文書や資料は数年掛けて整備したいという考えである。 このように園長には理念や基本方針に基づいた中・長期的な計画はあるものの、立案していないため将来のビジョンの明確化が課題であるといえる。 今後は、現状分析の下、課題や問題点を明確にした上で、ビジョンを達成するための具体的な中・長期計画を策定することが待たれる。

5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	園はNPO法人であるため、内閣府ポータルサイトに単年度事業計画を掲載していることが確認できる。そのため規定の内容のみの記載であり、保育園としての詳細な事業計画書は確認できない。 今後は園として中・長期計画を立案し、その実現のために必要な事業計画や収支計画を検討し、単年度計画を策定することに期待したい。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。				
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	園の事業計画は、園長が主となり作成しており、年度末には事業報告を作成するために評価する等、定めた時期や手順に基づいていることが確認できる。 NPO法人であるため、統一した書式である事業計画書、事業報告書は理事会に提出している。 NPO法人用の事業計画書は、統一した書式であるため、本来計画すべき、保育園の保育内容等の計画、人員計画等の記載は確認できない。 園は、職員が意見を出すボトムアップ体制は構築できているため、これを生かして事業計画の策定にも職員の参画や意見の集約・反映し、実行後に組織的に評価・見直しを行うことに期待したい。
7	I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	園長は、園舎増築の時や定員増の時には、保護者に文書で伝えている。 平日に保護者を集めて保育参観等を計画すると、仕事を休まなければならない、保護者に負担をかけたくないとの園長の思いから、園長が保護者と直接話す機会がないのが実情である。 現時点では、運動会、お遊戯会、遠足等のみが保護者の参加できる行事となっており、平日の子どもの様子を見る機会は、お遊戯会で見る動画のみとなっている。 コロナ収束後は、希望する保護者が園を訪れることができ、園長と話ができるよう検討、取組に期待したい。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
8	I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	行事を行った後は必ず振り返り、反省点を明らかにしており、職員間で回覧を行い、共有を図っている。園内の研修会では、職員間で課題について意見交換を行っている。 また、今回の第三者評価の受審に向けて、初めて各職員が自己評価を行っている。これを機会に、今後も園での自己評価を継続して実施し、保育の質の向上に向けて役立てることに期待したい。
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	今回の第三者評価の受審にあたって、主任、園長だけでなく、職員全員で自己評価を行っていることは高く評価できる。 ただし、園として、職員一人ひとりが改善すべきと感じた箇所は明確になっているものの、それが園全体の改善に繋がっていないことが、課題であると捉えている。今後は、職員参画の下、改善策を話し合う場を設ける等、取組が待たれる。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
10	II-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	園長は、園の経営方針について職員に説明を行っている。職務分担表を作成しており、全員の職務を明記している。また、各リーダーを配していることも確認できる。有事の際は、主任が園長の職務を代行することは文書化していないものの、職員間で共有している。 園だよりである“こころ通信”の“園長より”というコーナーに、毎回保護者へのメッセージを掲載しており、自らの保育に対する思いを明らかにし、周知を図っている。

11	II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	園長は、長崎県保育協会の女性部会の副部長を務めており、保育園をはじめ、社会福祉事業を取り巻く情報をいち早く得ることができる立場にある。 また、保育業界の情報誌を定期購読するとともに、社会保険労務士と顧問契約を交わし、法令の改定により就業規則を改訂する等、法令遵守に関して積極的に取り組んでいることが確認でき、高く評価できる。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
12	II-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	次月分の月案は、前月末までに担当職員が作成して、主任、園長のチェックを受ける仕組みである。月1回開催する職員会議には、園長が出席している。内部研修会の担当者は、副主任であり、内容の立案を担当している。問題が生じた際は、その都度園長に報告があり、ケース会議を開催している。 園長が自園の保育の質の向上に意欲的に取り組んでいることは特長である。
13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	園長は、保育に関しては経営上問題がある場合を除き、職員に任せている。例えば行事では各クラスの出し物を各々が決めて、園長が承認するというボトムアップの体制が確認できる。 職員は、職務分担表に記された業務を責任をもって取り組んでいる。 園ではICT化に取り組んでいるものの、園の求めるシステムに至っておらず、活用できていない。園長はICTに詳しい事務長に相談し、稼働できることを目指している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。				
14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	園での職員採用は、ホームページを経由したハローワーク求人と職員からの紹介が多い。職員が自身の職場で働くことを勧めていることは、園が働きやすい魅力のある職場であることを表しているといえる。 今後は、更に保育の質を確保するために、園が求める職員について具体的な計画を作成し、それに基づいた計画的な職員採用を行っていくことが望まれる。
15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a	園長として、職員には、「保育士として専門性を高めてほしい」という願いと、「一家庭人としても幸せであってほしい」という思いがある。 園に通う子どもの人生に関わる仕事であるため、職員自身も家庭という確かな基盤を築いてほしいとの考えである。 園は、終身雇用を謳っており、キャリアパス制度を取り入れ職員の育成を図っている。産前産後休業等も整えており、子どもを持った職員が複数在籍していることが確認できる。 また、正規職員を対象としてがん保険に加入しており、病気になった際も安心できる職場環境を整備していることが確認でき、高く評価できる。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	園長は、職員自身が健康で幸せでなければ、適切な保育ができないという思いから、職員の家庭人としての生活を大切にしてほしいと考えている。 そのため、職員の勤務体制に関し、極力職員の希望に応じており、短時間労働や休暇、シフトの交代、非常勤から常勤への転換、退職者の復職等、多くの対応事例が確認できる。園には子育て中の職員が多く、職員同士でコミュニケーションがよく取れており、良好なチームワークが確認できるのは、園の強みといえる。 また、福利厚生として職員はがん保険に加入しており、誕生日休暇もある。新型コロナ禍が収束した際には、以前のように懇親会等も再開したいと考えている。働きやすい職場づくりに取り組んでいる園の姿勢は高く評価できる。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
17	II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	職員は毎日仕事が終了退園する前に、園長室を訪れ挨拶を交わしており、園長はその際に職員と会話する機会を持っている。また個人的に相談がある職員は、午睡時に園長室を訪れている。ただし、定期的な個人面談は実施しておらず、園長も課題だと捉えている。 今後は、職員一人ひとりが自身の年間目標を設定し文書化するとともに、園長との面談にて情報を共有することが望まれる。その後、途中経過を互いに確認する機会を設けるなど、継続的な職員の育成に向けた仕組みづくりが必要と思われる。今後の取組に期待したい。
18	II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	園長は、職員一人ひとりの資格取得の状況を把握している。 園長が、各職員の研修の受講状況から判断し、キャリアアップ制度で、受講すべき外部研修を勧めており、現在はオンライン研修も取り入れている。園長は、県保育協会女性部会の副部長を務めており、研修内容の情報をいち早く把握できる立場にある。職員は受講後に職員会議で内容の報告を行い、情報共有を図っている。
19	II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	園長は、各職員のこれまでの受講履歴を把握しており、研修案内が届き、受講すべき内容の研修であると判断した場合は、職員に受講を勧めている。 園では、OJTを用いて先輩職員が新人職員に現場で働きながら学ぶことができるよう指導している。 また、全国版の有料eラーニングを導入しており、保育に関する詳細な講義は、各職員は時間がある時に受講できるよう配慮している。eラーニングは、受講の有無がわかる仕組みがあり、全職員に受講を促すことに役立っている。 コロナ禍であっても、職員一人ひとりが学ぶ機会を多く設けていることは特長である。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。				
20	II-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	実習生は、専門学校から依頼があり、受け入れている。学校からの要望に沿って、設定保育や部分保育を入れてカリキュラムを作成している。実習生がいるクラス担任職員は、必ず絵本の読み聞かせを行っている。実習生が作成する日誌はクラス担任職員が確認し、記入したり口頭で指導している。ただし実習生の受け入れに関するマニュアルが無く、指導者への研修も行っていないため、今後の取組が待たれる。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。				
21	II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	園の理念は、ホームページ及び入園のしおりに明記している他、財務諸表はNPO法人であるため、内閣府ポータルサイトにて公表している。 相談や要望、苦情の申し出先は、重要事項説明書に記載し保護者に説明しており、苦情の有無は園だよりに毎月記載している。園ではこれまでに、苦情の申し出者に了解を得た上で、内容を園だよりに公表した事例があり、運営の透明性を確保するための取組が確認できる。 地域へ向けての情報発信については、新型コロナ禍以前は、保育月間の際に園紹介のリーフレットを市が配付していたが、現在は休止している。コロナ禍の収束後には活動を再開する予定である。 園の運営の透明性を確保するための情報公開は、高く評価できる。

22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	税理士及び社会保険労務士と顧問契約を結び、毎月アドバイスを受けている。経理規程を備え、事務長を配している。経理規程に基づき、一定額以上は相見積りを取り適切な段取りで契約を締結している。決算時には、監事による監査を受け理事会にて承認を得ており、特定非営利活動法人として、透明性の高い適正な運営のための取組を行っていることは、特長である。
----	------------	----------------------------------	---	---

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	園長は、諫早市の保育協会から民生委員児童委員の選任委員を任命されている。このため民生委員児童委員を通じて、地域の情報が入ることが多い。 園では町内会には入っていないものの、地域の行事には声がかかる。ハロウィンの際に仮装して取引先の鮮魚店にお礼を伝えたり、新型コロナ禍前は近隣の高齢者施設と交流し、歌や踊りを披露し、喜ばれていた。 散歩の途中で、横断歩道の渡り方を学んだり、駅の近くまで出かけて、歩く時の注意点を伝えている。また、人形劇の公演や動物園、植物園からの案内は保護者に届けており、地域の社会資源の情報を保護者に提供していることが確認でき、高く評価できる。
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	園ではボランティアとして、中学生の職場体験を受け入れている。各クラスに入ってもらい、一緒に遊んだり演劇を披露したりしている。また公文の講師が絵本を読み聞かせたり、カードでことわざを教えたりしている。一方で、ボランティア受け入れに関する基本姿勢の明確化やマニュアルの整備はこれからである。今後の検討、取組に期待したい。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	園長は、地域の民生委員児童委員と連携を密にしている他、地域の鮮魚店、精肉店を利用しており、子どもが店を尋ねてお礼を伝えている。ハロウィンには、子どもが仮装して近隣の大学の留学生と交流したり、地域住民からお菓子をもらうなどしている。 市担当課が園を訪問し、虐待を疑われる情報はないか尋ねている。「長崎ひまわりプロジェクト」と称する子どもを守るネットワークでは、子どもの見守りから虐待を疑われる事態を発見している他、寡婦に焦点を当てたイベント等、積極的な活動が確認できる。
----	------------	---	---	---

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	園長は長崎県保育協会女性部会の副部長や、諫早市の民生委員児童委員の選任委員に従事しており、地域の福祉ニーズを把握できる立場にある。新型コロナ禍前は一時保育を実施して地域の家庭の援助をしたり、諫早市保育協会主催の保育月間に行うホットウィークでは、多くの家庭から訪問を受入れている。新型コロナ禍収束後には、改めて地域の福祉ニーズに応える活動が十分期待できる。
27	II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	園長は、長崎県の保育協会女性部会を通じて、地域で活動する中で福祉ニーズを把握している。長崎県更生保護女性連盟が運営する長崎ひまわりプロジェクトでは、フードドライブや子どもの見守り、相談事業があり、園長が直接関わっている。 近年の雪の影響で断水した際は、水を地域住民に提供したり、相談事業のブースで直接相談に乗る等の事例がある。園として公益的な活動に積極的に関わっていることは、特筆すべき点である。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

28	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<p>園長は、子どもの尊重や基本的人権を重視し、職員に親しみを込めていたとしても、子どもを呼び捨てにすることはあってはならないと指導しており、職員は、日頃から注意して声掛けするとともに、性差への先入観を持たず保育にあたっている。</p> <p>障がいのある子どもと同じクラスの子どもは、手伝うことを理解しており、手を繋いだり、困っている時に手伝う等は日常的になことであり、職員は見守りながら、援助している。</p> <p>外国籍の保護者の見学があった際は、園として受け入れる姿勢であることを伝えている。</p> <p>ただし、園内で子どもの尊重や基本的人権への配慮についての勉強会や研修は行っていない。全職員が共通の理解を持つために今後の取組が望まれる。</p>
29	Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b	<p>子どものプライバシー保護の観点から、靴箱に氏名を記載することを止めている。</p> <p>プールはテントを張って、着替えも他から見えないように配慮している。また、各クラスは外から覗かれる環境ではないため、着替える場面が外部から見える危険性はない。失敗した時は、さりげなくシャワーブースで対応している。</p> <p>ただし、3歳児のトイレは、扉がなくオープンであり外部から見える可能性があるため、子どもの人権、羞恥心への配慮、プライバシー保護の観点から工夫することが望まれる。</p>

Ⅲ-1-1 (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<p>利用希望者は当園のホームページを閲覧したり、すこやか広場での保護者同士の会話の他、在園児の保護者からの紹介など、さまざまな機会を通して、電話で見学を申し込んでいる。また、11月のホットウィークでは、希望者は園見学ができるため活用している保護者もいる。</p> <p>現状は定員を満たしているため、利用に繋がっていないものの、見学時は主任が案内し、入園のしおりと一時保育のチラシを渡し、必要な情報を提供している。</p>
31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<p>入園決定後、主任が入園のしおりや重要事項説明書をもとに保護者に説明している。担任となる職員が面談し、子どもや家庭の様子を聞き取っている。また、離乳の状況については、栄養士が入ることもある。</p> <p>4月の入園時には、市から健康診断のスケジュール等を記載した文書を作成するよう依頼があり、保護者に配付している。</p> <p>無償化等変更は、市の決定を待って、保護者に文書を届けており、内容がわかるよう工夫している。</p>
32	Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<p>在園児が、幼稚園や他園に転園する場合は、市を通して連絡があることが多い。</p> <p>これまでは、情報提供の依頼はないものの、今後発生した場合は、保護者の同意を得て提供するよう考えている。</p>

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。				
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<p>園長は職員に日常的に“子どもファスト”と伝えるとともに、子どもが楽しみながら経験を積めるように努めている。遠足の候補地は子どもが選択しており、決定した場所について職員が道順等を検討しており、子どもが主体であることがわかる。</p> <p>保護者に向けてのアンケートは行っていないものの、行事後には職員が保護者から感想や意見を聞き取る他、連絡帳に記載があった内容を情報共有している。更に、登降園時に保護者との会話から把握している。</p> <p>園長は、保護者の就業状況や家庭環境等に配慮し、園として保護者の時間を割くことはしないことを基本としている。そのため、保育参観や個別面談等を定例にはしていないものの、今後は、保護者の満足度や意見を聴取する方法等を検討したいと考えている。今後の取組みに期待したい。</p>
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<p>園は、苦情解決の仕組みを整備しており、登降園時に保護者が通る玄関横に意見箱を設置している。これまでに郵送で苦情が届いており、申出者に回答し本人の意向に沿って公表した事例がある。また、連絡帳に記載がある時は、内容を把握し対応している。</p> <p>園長は、保護者に向けて、更に苦情解決の流れをわかりやすく伝えることが、必要だと考えている。今後、ホームページの活用も含め、検討、取組に期待したい。</p>
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<p>登降園時や連絡帳にて保護者の相談等を聞き取っている。保護者は相談内容によって職員、主任、園長を選択しており、希望に沿って対応している。</p> <p>相談場所は他の保護者にわからないように配慮し、相談しやすく、意見を述べやすい適切な場所を設定している。</p>
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<p>職員は、送迎時には保護者に声を掛け、相談しやすよう配慮しており、相談を受けた際の記録は適切に保管している。職員が聞き取った保護者の相談等は主任に報告し、主任は内容を精査し園長に報告しており、組織としての仕組みが確認できる。</p> <p>相談内容によっては時間を要する場合もあり、その際は本人に伝え、誠実に迅速に対応している。</p>
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。				
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<p>リスクマネジメントに関する責任者は、園長である。</p> <p>園では定期的に園庭の遊具の点検を行っており、更に事故に繋がる危険性がないか園内の点検に努めている。</p> <p>園としてリスクマネジメントのひとつであるヒヤリハットについて、昨年、職員向けの研修で全員が学ぶ機会を設けている。ただし、ヒヤリハットの収集はこれからである。</p> <p>嘔吐や発熱の対応マニュアルは作成中であり、職員に周知を図るのは今後の取組みとなる。また、事故発生時の対応マニュアルは作成しており、今後更にブラッシュアップする予定である。</p> <p>園として、子どもの安全に直結するリスクマネジメントについて、検討、取組みが待たれる。</p>
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<p>感染症対策の責任者は園長である。</p> <p>新型コロナ感染予防対策として、訪問者には玄関での手指消毒、検温を徹底している。また、登園時の子どもの受渡しでは保護者は園舎内に入室することはなく、職員が対応している。</p> <p>園内に感染症が発生した時には、掲示板に張り出すとともに、家庭での感染予防について情報を発信している。個人情報保護の観点から、感染症が発症したクラスは明記せず、配慮していることがわかる。</p> <p>更に、職員は嘔吐下痢の処理方法を学んでいる。園としての感染症マニュアルはこれから整備することとしている。今後の取組が望まれる。</p>

39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	園では、立地している地区がハザードマップの対象外であることを把握している。重要事項説明書には、自宅待機や休園する基準を明記するとともに、毎月、火災又は地震を想定した訓練を実施している。 また、台風等で高齢者等避難情報が出た場合は、保護者に連絡を取り、お迎えを依頼することとしている。 備蓄品として、レトルトパウチの米、水、野菜ジュースを備え、災害時には、LINEのビジネス機能を利用して、保護者に一斉送信を行うよう整備している。 更に、平時より警備会社と契約を行っており、停電の際の門扉の開閉もできる体制を取っている。また火災の際は、隣家の土地へ柵を越えて、子どもを避難させるよう消防署の指導を受けている。 災害時を想定したさまざまな取組は高く評価できる。
40	Ⅲ-1-(5)-④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	b	過去一年間に、不審者の侵入は発生していない。園では、不審者対応マニュアルを整備し、フローチャート形式で対応方法を定めている。 ただし、これまで不審者の侵入を想定した訓練は実施しておらず、園長は訓練の必要性を感じている。また、散歩等、園外で不審者に遭遇した際の対応方法についてマニュアル作成はこれからである。万が一を想定し、子どもの安全を守るために、今後の取組が待たれる。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。				
41	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	子どもが登園してから降園するまでの職員の仕事の流れを時系列で示したマニュアルを整備している。 ただし、保育マニュアルは整備していないため、新人職員を採用した際は、現場でのOJTが主であり、職員が口頭で指導している。 今後は、園の保育方針に合致した保育マニュアルを作成し、職員間で共有するとともに、日々の保育に活かすことが望まれる。 また、保育マニュアルには、子どもの人権の尊重やプライバシー保護についての姿勢を含めることで、職員の理解も更に深まると期待できる。今後の検討、取組が望まれる。
42	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	園の保育マニュアルは、活用することで実際の保育との差異が明確になることが考えられる。時勢や保育方法の変化などに合わせて、定期的な検証・見直しを行うことで、園の保育の質の向上に反映することに期待したい。 検証・見直しにあたっては、職員の意見や提案を反映する仕組みづくりが求められる。今後の取組が待たれる。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。				
43	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b	入園時、保護者は児童票及び健康調査票を提出している。その際、保護者として子どもの育ちについて気になることを記入する欄があり、職員は指導計画を作成する上での参考にしていく。 記入内容を基に、毎月体重測定を実施したり、栄養士が指導計画作成に関わる等、個別のニーズを指導計画に反映していることが確認できる。 園では、3歳未満児は毎月、3歳以上児は4期に分けて、全園児に指導計画を作成している。ただし、個別の指導計画が全体的な計画と連動していないケースもある他、障がいのある子どもの個別計画については、諫早市独自の様式にて毎月作成しているものの、毎月の目標が他児と同様である。 今後、全体的な計画との連動及び障がいのある子ども一人ひとりについて目標を定める等、検討、見直しが望まれる。

こころ保育園

44	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	園では、3歳未満児は1ヶ月毎、3歳以上児は3ヶ月毎に個別指導計画の評価・見直しを行っている。 複数の担任でミーティング時に振り返りを行い、その後、主任、園長がチェックし、不備な箇所は訂正指導しており、手順を定めて見直しを実施していることが確認できる。 園には、保護者の意向や多職種の職員の意見等を参考にして、子どもの育ちに合わせて個別の指導計画を作成する仕組みがあり、主任、園長も共に検討し見直ししている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。				
45	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	園では、統一した様式に子どもの発達状況や生活状況等を記録するルールがある。日案、週案、月案は、主任、園長がチェックし、内容に不足のある場合は担当職員に質問したり、訂正するよう指導しており、職員毎に記録に差異が生じないように努めていることが確認できる。 子どもの記録は、サーバーで管理を行っているが、日常的に園のUSBメモリースティックを職員に貸し出している。そのため、サーバー管理と並行して、USBメモリースティック内に記録を保管している状態にある。園のUSBメモリースティックは、パスワードを設定しているものの、貸出のルールが明確ではない。 個人情報流出等の事故防止のために、管理方法について明確なルールを定める等、至急の対策が求められる。
46	Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	子どもの記録は、所定の場所に適切に保管していることが確認できる。 個人情報保護に関して、保護者には重要事項説明書に守秘義務について記し説明しており、職員には守秘義務の誓約書の提出を義務付けている。 また、子どもの写真を園だより等に掲載する同意は、保護者から書面で得ている、 ただし、個人情報保護規定を文書として整備していないことは、園として問題と捉えており、これから整備する予定である。 また、園のUSBメモリースティックの保管や持出のルールが明確ではないため、管理方法を明確にすることが待たれる。

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成				
		項 目	評価	コメント
1	A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b	園の全体的な計画は、園の保育指針、保育理念、保育目標に則り策定している。計画は、園長、主任で作成しており、前年の振り返りを行った上で、次年度の計画に繋げている。計画は、園としての社会的責任や地域の実態に則した事業、子育て支援、小学校、地域との連携について明記するとともに、0歳児は身体的発達、社会的発達、精神的発達、食を営む力等、分類してねらいを明確にしている。 更に、年齢ごとに養護と5領域の教育、食育についてねらいを記している。これまで、本計画策定にあたって職員の意見を反映する仕組みはなく、現場の職員が参画することで更に充実した全体的な計画となることが期待できる。今後の検討、取組が望まれる。

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開				
2	A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<p>各保育室の気温や湿度は、職員が声掛け合って随時調節し、換気にも気を配っている。子どもが触る玩具や椅子、テーブル等の消毒は、午睡時に職員が入念に行っている。</p> <p>日常的に園の収納場所に玩具を仕舞っており、玩具は職員が選ぶのではなく、子どもが自由に選んでおり、自主性を育てていることがわかる。</p> <p>また、一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所を設けており、特に3歳児のクラスにはドールハウスがあり、子どもたちだけの楽しい空間となっている。</p> <p>食事や睡眠は時間で区切り、食事は厨房から運び、クラス内は食べこぼしてもいいように、職員が敷物を敷いている。</p> <p>手洗い場は清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、水滴は都度職員が拭き取っており、安全への配慮がみえる。</p> <p>職員全員が生活の場として、心地よい環境を整備しようとする姿勢は、高く評価できる。</p>
3	A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	<p>乳幼児については月齢の差に十分配慮し、子どもが安心して自分の欲求を表すことができるよう、職員は思いを押し量って援助するよう努めている。</p> <p>1歳児は、身体を動かしたい欲求が出るため、職員は日ごとに活動の種類を変えて、満足できるよう工夫している。</p> <p>また、1、2歳児の身の回りのことを自分でしようとする気持ちを尊重し、見守りながら援助し、出来たことを一緒に喜び、本人が成功体験を感じるようサポートしている。</p> <p>園庭は、園から離れた場所にあり、乳幼児が徒歩で行くことは難しいため、園舎1階横の屋外スペースで土に触れる機会を作っている。</p> <p>職員は、一人ひとりの子どもを受容し、状態を把握しながら保育にあたっている。</p> <p>クラスによっては熱心なあまり、大声で子どもたちを指導する場面があり、子どもにわかりやすい言葉遣いで、穏やかな口調で話すことが、子どもの情緒の安定にも繋がると考えられる。不必要な大声等は用いないよう、配慮が求められる。</p>
4	A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<p>園では、子ども一人ひとりの育ちに合わせて、生活習慣を身につけることができるよう援助している。</p> <p>2歳児クラスでは、食事の際に、手づかみからスプーンやトレーニング用の箸を使って食べることができるよう、無理なくサポートしており、年明けからは普通の箸を使えるように成長している。</p> <p>トイレトレーニングは、夏に家庭で布パンツを準備し、子どもが排泄を失敗し不快感を感じることから、快適感を得るために職員に伝え、主体的にトイレで排泄することができるように援助している。</p> <p>子どもの成長の経過は保護者と共有し、家庭での様子も聞きながら、本人のペースを重視しており、特長といえる。</p>
5	A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<p>各クラスでは、一日のメイン活動を設定しており、職員は当日の朝、子どもたちに希望を聞きながら遊びを選択できるように援助している。</p> <p>土曜日は自由の時間として、主活動を前半に行った場合は後半を自由活動とし、子どもが自由に主体的に遊べる時間を設けている。</p> <p>社会的ルールを学ぶ機会として、年長児はお泊り保育がある。お泊り保育の中で、積極的な子どもの姿があり、職員は普段は見えない子どもの新たな一面を発見できる場となっている。</p> <p>可能な限り、園外保育を行っており、運動会の練習のためにマイクロバスで施設まで出掛けたり、公共交通機関を使って外出する等、子どもの主体性を尊重し、生活と遊びが豊かになる保育は、高く評価できる。</p>

6	A-1-(2)-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>0歳児の保育室は、採光が良く明るい空間であり、床にはハイハイしたり寝転んだりできるようクッション性のあるマットを敷いている。</p> <p>0歳児は月齢で成長が異なるため、子ども数が多い中、職員は抱っこしたり、喃語に応答したりして愛着関係を持って援助しており、笑顔で接することで子どもが安心して過ごせるよう配慮している様子が窺える。</p> <p>また、登降園時には保護者と対面して、一日の様子を伝えるとともに、連絡帳にて互いに情報共有している。</p> <p>乳児に適した環境を整え、成長を育む日々の職員の関わりは特長である。</p>
7	A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>1歳児は自ら身の回りのことをやりたい欲求が生まれる時期であり、職員は見守りながら援助している。更に、2歳児のイヤイヤ期を自我の目覚めとして尊重し、全て受容している。職員は、子どもの言葉にならない思いを代弁しており、けんかの際は、職員がお互いの気持ちを聞き取り、言葉にして伝え、「ごめんね」ありがとうの気持ちを教えている。</p> <p>朝の異年齢保育では、3歳以上児と一緒にいることで年長児の優しさを感じ、夕方は0、1歳児と一緒に過ごす中で自ら年上として優しく接しており、成長を確認できる場面である。3歳未満児の一人ひとりの子どもに寄り添い、育ちに合わせて援助するためのさまざまな工夫は高く評価できる。</p>
8	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>3歳児は、年下の子ども世話をするようになる頃であるとともに、まだ自分のことで精一杯な年齢でもあるため、職員は様子を見ながら、本人の思いを汲み取って援助している。</p> <p>4歳児では、成長とともに、自分の気持ちを抑えて友達に玩具を譲る様子があり、また、年下の子ども世話ができるようになり、職員は本人の個性や特性を把握して見守っている。一方で、できない子どもの気持ちにも配慮し、職員が声を掛け寄り添っている。</p> <p>5歳児はお遊戯会で太鼓やダンスに挑戦するため、練習では、みんなと一緒にできるようになる過程を大切にしながら、職員が援助している。園長は子どもがさまざまな体験をすることは大切だと考えており、職員が計画することは承諾している。</p> <p>3歳以上児は、園舎から少し離れた園庭で遊ぶことができ、職員が見守る中、活発に遊んでいる様子が窺える。</p> <p>子どもの成長を実感できる環境を整え、主体的な遊びや学びの場を設け、援助していることは優れた点である。</p>
9	A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<p>障がいのある子どもには、専任の職員が付き、個別支援計画の下、支援を行っている。医師と直接連携する機会はないものの、子どもと保護者と通っている療育センターに文書で質問したり、保護者を通じて接し方等を尋ね、学んでいる。職員は、障がいのある子どもも、できるだけ集団の中に入って、遊ぶことができるよう見守っている。</p> <p>ただし、個別支援計画の目標が他の子どもと同じとなっており、園としても障がいのある子どもが、他の子どものペースに合わせられないことが問題であると感じている。今後は、それぞれの障がい特性に配慮した個別支援計画の作成が求められる。</p> <p>また、現時点では、障がい児担当の職員以外は、子どもの障がい特性について学ぶ機会がない。全職員が子どもの障がい特性について、知識や情報を得ることができるよう、体制の整備が待たれる。</p>
10	A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<p>職員は、毎朝登園時に保護者から子供の朝の様子を聞き取り、体調不良や生活リズムが乱れている時は、無理の無いように配慮し様子を見守っている。</p> <p>延長保育は、17時10分からひとつのクラスに集い、テレビ鑑賞にて過ごしている。18時になると補食を提供しており、その後子どもたちは、自由に遊んでいる。</p> <p>延長保育利用は少人数であるため、家庭的な環境となることを目指し、職員2人を配置している。</p> <p>降園時に伝えるべきことは職員間で共有しており、延長保育担当が伝える仕組みがある。</p>

11	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	<p>5歳児クラスでは年明け1月から午睡をなくし、終日起きて過ごす生活に移行している。職員は、小学校入学に向けて、ひらがなを書く練習や鉛筆を正しく持つことができるよう指導するとともに、小学校までの散歩コースを利用して、交通ルールの教育を行っている。</p> <p>就学前の保護者の面談は行っていないものの、送迎時の日常会話や連絡帳で不安を聞き取り、対応している。</p> <p>児童要録は、これまでの子どもの記録をもとに、5歳児クラスの担任が作成している。</p> <p>現在は、新型コロナ禍のため小学校との連携は厳しい状況であるが、昨年は、小学校から電話で問い合わせがあり、園に訪問がっており、コロナ収束後は再開を期待したい。</p>
A-1-(3) 健康管理				
12	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<p>園では、健康管理マニュアルを整備し、0、1歳児は登園時に検温している。子どもの発熱については38度を超えると保護者に連絡することとしており、全職員が理解して対応している。子どもの健康管理について保護者に知って欲しい情報は、園だよりに掲載し周知を図っていることがわかる。</p> <p>クラスごとに子どもの体調がわかるよう、申し送り表に記し、情報を共有する工夫が確認できる。</p> <p>ただし、家庭に向けてのSIDSに関する情報提供や周知は、まだ行っていない。検討が求められる。</p>
13	A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<p>入園のしおりにて、年2回の内科検診、年1回の歯科検診と検尿検査が確認できる。</p> <p>保護者には内科検診、歯科検診ともに結果は連絡帳に挟んだり、口頭でも知らせている。</p> <p>虫歯がある場合は、主任が健診結果の文書を基に保護者に伝え、歯科医で治療するよう伝えている。診断の結果は保育に反映し、子どもの健康管理に努めている。</p>
14	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	<p>アレルギー食については、クラスにアレルギー反応が出る食材等を毎日の献立表に記して職員に周知しており、アレルギー食材は、完全除去にて提供している。</p> <p>最新の状況を主治医に確認するよう保護者に依頼しており、アレルギー疾患管理指導票に主治医が記載し、それに沿って調理し提供している。</p> <p>園では、アレルギーに関する研修を行っており、受講した職員はエピペンの使い方を学んでいる。</p> <p>子どもの慢性疾患の事例として、喘息や熱性痙攣、アトピー性疾患がある。検温など疾患に応じて対応している。その他、保護者を通じて医師の指示、健康診断を依頼している嘱託医の助言、情報提供もある。</p>
A-1-(4) 食事				
15	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<p>アレルギー食と普通食の違いが気になる年齢には、見た目により差がないよう配慮して食事を提供している他、皿やトレイ、テーブルを分けて、職員が分別できるように工夫している。</p> <p>栄養士は子どもが食事している様子を確認しており、離乳食や残食を把握している。クラス担任から子どもが苦手な食材を聞いて、食べやすいようにアレンジしたり、回数を重ねると食べられるようになるよう工夫しており、職員は、子どもが食べることができるようになった時には、栄養士に伝えている。</p> <p>レシピは給食だよりに掲載して家庭に伝えるとともに、保護者からレシピの質問がある時には回答している。</p> <p>食器は強化磁器を使用しており、落としたり割れるという経験から食器を大切に扱うことを学ぶ機会となるよう工夫している。5歳児になると、職員の横で食事の配膳を手伝っている。</p> <p>また、行事食ではクリスマスにポテトサラダをクリスマスツリーに見立て人参で星を作っている等、栄養士を中心に子どもが興味を抱いて、食事が楽しみになるようさまざまな工夫を行っていることは、特筆すべき点である。</p>

16	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<p>園庭の横にある畑ではサツマイモを栽培している他、プランターでキュウリ、トマト等を栽培して、給食に入れて提供している。職員は、子どもに種や球根から収穫して食べるまでの流れを説明している。</p> <p>給食室では子どもの誤嚥等に気を付けており、厚労省のガイドラインに沿って、食材の切り方に配慮している。</p> <p>月に1度の給食会議には、園長も参加して話し合っており、職員の献立についてのアドバイスを反映することも多い。</p> <p>離乳食の開始は、接種確認表を家庭で記入してもらい、食べている形状等を確認し、2ヶ月程度で次の段階を把握している。</p> <p>衛生管理マニュアルを整備しており、改訂の度に見直し作成していることがわかる。</p> <p>チャンポン、皿うどん等も提供しており、子どもが美味しく安心して食べることができる食事は、高く評価できる。</p>
----	-----------	---------------------------------	---	--

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携				
17	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<p>日頃から、職員は送迎時や連絡帳を用いて、保護者と家庭と園での子どもの様子を情報共有している。</p> <p>保護者の生活環境に変更があった際には、児童票を渡しており、保護者は修正し提供している。</p> <p>保育の意図や内容は、園だよりやクラスだよりで伝えるよう工夫していることがわかる。</p> <p>ただし、送迎が保護者ではない家族の場合は、保護者と直接顔を合わせる機会がなく、職員は子どもについての情報交換の不足が課題と捉えている。今後の検討、工夫に期待したい。</p>
A-2-(2) 保護者等の支援				
18	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<p>職員は、保護者とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めている。また、相談内容に合わせて、保育に関することは職員や主任、園長が対応する他、食事に関することは栄養士が対応している。</p> <p>園は、保護者が安心して就業できるように園の行事等を極力削減する方針である。そのため、保護者と子どもの成長を共有する機会として運動会、お遊戯会等を設けている。</p> <p>ただし、園の配慮に感謝しつつも、保護者が他にも子どもの成長を見る機会を希望しているか否か、確認することが必要と思われる。その上で、保育参観、保育参加、保護者会などの機会が必要か否か検討することに期待したい。</p>
19	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<p>園では、家庭での虐待が疑われる事例はこれまでに発生していない。園長は職員に虐待防止について学びの場を設けていないが、今後は必要だと考えている。</p> <p>職員は毎日、子どもが当園した際に、身体に変化がないかをチェックしている。</p> <p>園長は、職員に向けて子どもへの対応について、気を付けるよう講話している。県から虐待防止のチェックリストが届いており、全職員が自身の日々の保育を振り返る機会となっている。</p> <p>マニュアルの作成はこれからであり、取り組む予定である。今後は、マニュアルを整備するとともに、虐待防止について学びの場を設け、全職員の理解を深めることに期待したい。</p>

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
20	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	<p>b</p> <p>職員は日案、週案について計画通りに保育ができたか否か、その成果と反省を詳細に記録しており、クラス毎の日案、週案、月案の振り返りを通して、個々に自身の保育の振り返りに繋げている。</p> <p>また、園内研修時に気になる子どもの報告を行い、情報共有し、方法や手段等について検討していることが確認できる。</p> <p>日案、週案、月案の振り返りが職員同士の学びの機会となり、保育の質の向上に繋がっている。</p> <p>職員は、障がいのある子ども、気になる子どもについての関わり方や保育方法等、更なる検討、工夫が必要であると考えている。今後の取組に期待したい。</p>

事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称：こころ保育園
2. 運営主体（法人名等）：特定非営利活動法人こころ保育園
3. 事業所所在地：長崎県諫早市栄田町 42-56
4. 事業所の長の氏名（園長等）：前田美佐子
5. 連絡先
電話：0957-56-9877
Fax：0957-47-5887
eメール：info@kokorohaikuen.jp
ホームページ：kokorohaikuen.jp
6. 当該事業の開始年月日：平成 27 年 4 月 1 日
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している同一運営主体の主な福祉サービス事業

8. 事業所が大切にしている考え方（事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。）

資料を添付いたします。

9. 現在の職員数（ 令和4年 11 月 1 日現在）:

常勤職員数 6 人、 非常勤職員数 11 人（常勤換算 5 人）

10. 定員及び現在の利用者:

(1) 一般保育

	定員（人）	利用者数（人）
0歳児	8	10
1歳児	8	8
2歳児	8	6
3歳児	8	7
4歳児	8	8
5歳児	8	8
計	48	47

(2) 特別保育

	定員（人）	利用者数（人）
延長保育		1~2
障害児保育		2
病後児保育	0	
一時保育	0	0
その他 ()		

11. 現在のサービス提供能力（利用状況）と利用者数

（以下のいずれかに○印をおつけください）

- ① サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。
 ② ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
 ③ サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積（保育園分）:

307.78 ㎡ 利用者1人あたり 6.6 ㎡

(2) 園庭面積:

276.09 ㎡ 利用者1人あたり 5.87 ㎡

(3) 建築（含大改築）後の経過年数:

1 年

(4) 保育所の設置形態

- 単独設置の場合：(2 階建)
- 他施設と併設の場合：
併設施設種別：
保育所の使用階数： _____ 階部分
- 建築（含大改築）後の経過年数：(1 年)
- 3年以内の大改築計画の有無：(有 ・ 無)

(5) 立地条件など

- ① 交通の便：諫早_ 駅から 徒歩、バス、その他 (車) で _ 4 _ 分
バス停 _____ から 徒歩 _____ 分
- ② 近隣の環境 (周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など)

近隣に小学校、高校、大学があり周辺道路はバスや車も通り、四方へ出勤する場合の通り道にもなっている。すぐ近くに公園はないが、小学校や大学などに散歩に行ける環境である。

13. 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

- 設置している (委員数 _ 2 _ 人)
- 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況 (定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等) :

苦情相談が発生した場合のみ活動

(3) その他苦情解決に向けての取組み (意見箱の設置、オンブズマンの導入等) についてご記入ください

園児下駄箱の上に常時意見箱を設置し、だれでもいつでも投函できるようにしている。

14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル (整備している 整備していない)
- (2) 感染症対応マニュアル (整備している 整備していない)
- (3) 事故発生対応マニュアル (整備している 整備していない)
- (4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容を3つ以内でお書きください。

- ① 小規模を生かし、自宅にいるような雰囲気ですごせる環境づくりを目指した園舎整備をしている。

- ② 保護者の負担にならないような参加での行事や内容にするように努めている。

- ③ 核家族が増えている昨今、クラス内だけの活動にとどまらず、異年齢の関わりを通して子ども同志が育ちあう環境を作ることを意識している。



こころ保育園



保育理念



- 一、健康、安全など生活に必要な基礎的な習慣を養い生命保持及び情緒の安定を図る。
- 一、人に対する愛情と信頼感、人権を大切にすることを育てるとともに自主・協調の態度を養い道徳性の芽生えを培う。
- 一、保育生活の中で、様々な体験を通し豊かな感性を育て創造力・思考力の芽生えを培う。



保護者の皆様へ

「こころを育む」、「こころを慈しむ」、「こころを豊かにする」、「こころを鍛える」、「こころを癒す」、「こころを大切にすること」これらすべてを集約し、さらに子ども達や保護者の皆様の「こころの拠り所」となれる園でありたいという思いが込められています。

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所)

評価機関名	福祉総合評価機構
-------	----------

事業所名称	こころ保育園
-------	--------

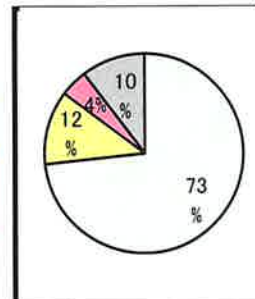
調査の対象・方法	<p>対象： 調査対象保育園の在籍園児保護者</p> <p>方法： 対象者へ調査用紙を配布 各自記入の上、評価機関へ直接郵送回収</p>
----------	--

調査実施期間	2022年 10月 25日から 2022年 11月 30日まで
--------	---------------------------------

アンケート結果平均(無回答・無効・非該当を除く727件内)

利用者総数	47 人
調査対象者数	38 人
有効回答数	27 人
回収率	71 %

はい	533 件	73%
どちらともいえない	87 件	12%
いいえ	32 件	4%
わからない	75 件	10%



総 評	<p>本アンケートは38人中27人の回答を得て71%の回収率となった。</p> <p>アンケートの結果から、利用者の満足度は全体を通して高く、特に問23「異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか」、問28「登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか」は100%と最も高い。次いで問25「送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか」が96.3%と続いている。一方、問13「地域や家庭(保育所を利用していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか」11.1%が一番低く、次いで問6「保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか」18.5%という結果となっている。</p> <p>自由記述を追っていくと、感謝のことは、賞賛は職員の日々の対応や質の高い保育、保護者への配慮、保育環境の良さなどさまざまな記述が見られる。一方、園の様子を知る機会や外遊びの場所など意見・要望の声がある。</p> <p>このような結果から、保護者は全般的に満足度が高く、職員の質、保護者、子どもへの接し方について高い評価がみられる。その一方、さまざまな意見・要望があることは見逃せない。</p> <p>今後は、本アンケート結果から保護者の意向を汲み取り、保育園として改善すべき項目に取組み、貴園の更なる質の向上につながるよう期待したい。</p>
-----	---

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	こころ保育園	有効回答数	27 人
-------	--------	-------	------

評価対象	No	質問項目	回答	回答数	(%)											
全サービス共通項目																
保育理念 保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 5%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		16件	59.3%	
	はい															
	どちらともいえない															
いいえ																
わからない																
無回答																
2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。 * 問1にて「はい」と答えた方以外は非該当	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 2%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>非該当</td><td style="width: 40%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		非該当		15件	55.6%
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
非該当																
3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。 * 問1にて「はい」と答えた方以外は非該当	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 5%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 2%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>非該当</td><td style="width: 40%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		非該当		13件	48.1%
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
非該当																
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 80%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 5%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 10%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		24件	88.9%	
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 70%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 5%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		19件	70.4%	
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 30%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 25%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		5件	18.5%	
	はい															
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
7	困ったことを相談できる職員がいますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 75%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 2%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 10%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		22件	81.5%		
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
苦情受け付けの方法等	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 70%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 2%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 5%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 5%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		21件	77.8%	
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることが出来ますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 55%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 20%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 2%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 5%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		16件	59.3%	
	はい															
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																
10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>はい</td><td style="width: 60%;"></td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>いいえ</td><td style="width: 0%;"></td></tr> <tr><td>わからない</td><td style="width: 15%;"></td></tr> <tr><td>無回答</td><td style="width: 10%;"></td></tr> </table>	はい		どちらともいえない		いいえ		わからない		無回答		17件	63.0%		
はい																
どちらともいえない																
いいえ																
わからない																
無回答																

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	こころ保育園		有効回答数	27 人		
職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい		17 件	63.0%
			どちらともいえない		3 件	11.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		6 件	22.2%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか(職員によって言うことやすることに違いがありませんか)。	はい		21 件	77.8%
			どちらともいえない		4 件	14.8%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		0 件	0.0%
	13	地域や家庭(保育所を利用していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		3 件	11.1%
			どちらともいえない		8 件	29.6%
			いいえ		4 件	14.8%
			わからない		11 件	40.7%
	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		15 件	55.6%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		11 件	40.7%
			わからない		0 件	0.0%
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。 * 問14にて「はい」と答えた方以外は非該当	はい		13 件	48.1%
			どちらともいえない		2 件	7.4%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		20 件	74.1%
			どちらともいえない		1 件	3.7%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		1 件	3.7%
	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい		18 件	66.7%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		4 件	14.8%
	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		23 件	85.2%
			どちらともいえない		3 件	11.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		1 件	3.7%
	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		24 件	88.9%
			どちらともいえない		1 件	3.7%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		1 件	3.7%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		14 件	51.9%
			どちらともいえない		4 件	14.8%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		8 件	29.6%
	21	無回答	はい		0 件	0.0%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%

内容サービス項目

食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		23 件	85.2%
			どちらともいえない		3 件	11.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		1 件	3.7%
	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		24 件	88.9%
			どちらともいえない		1 件	3.7%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		1 件	3.7%
施設的环境	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		14 件	51.9%
			どちらともいえない		4 件	14.8%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		8 件	29.6%
	21	無回答	はい		0 件	0.0%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果(保育所用)

事業所名称	こころ保育園		有効回答数	27 人		
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい		14 件	51.9%
			どちらともいえない		9 件	33.3%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		3 件	11.1%
			無回答		0 件	0.0%
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		14 件	51.9%
			どちらともいえない		7 件	25.9%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		5 件	18.5%
			無回答		0 件	0.0%
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		27 件	100.0%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		0 件	0.0%
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		19 件	70.4%
どちらともいえない				2 件	7.4%	
いいえ				1 件	3.7%	
わからない				5 件	18.5%	
無回答				0 件	0.0%	
保護者への 育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		26 件	96.3%
			どちらともいえない		1 件	3.7%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		0 件	0.0%
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		22 件	81.5%
			どちらともいえない		4 件	14.8%
			いいえ		1 件	3.7%
			わからない		0 件	0.0%
27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		23 件	85.2%	
		どちらともいえない		2 件	7.4%	
		いいえ		0 件	0.0%	
		わからない		2 件	7.4%	
		無回答		0 件	0.0%	
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		27 件	100.0%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		0 件	0.0%
29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		25 件	92.6%	
		どちらともいえない		0 件	0.0%	
		いいえ		1 件	3.7%	
		わからない		1 件	3.7%	
		無回答		0 件	0.0%	